

第11回

九州大学

楠見 淳子 先生

広義ヒノキ科樹木の進化

針葉樹は、亜寒帯から熱帯にかけて広く分布し、特に環境が悪い条件下で（貧栄養、乾燥、湿地、低温、高温）他の広葉樹をおさえ、ときには大きな森林を形成する。近年では産業利用価値の高い樹種において全ゲノム解析が進められており、ゲノム情報の蓄積も進んでいる。また、針葉樹はゲノムサイズが大きく膨大な非コード領域の蓄積がみられるなど、被子植物とは異なる特性を有しており、進化研究の対象としても非常に興味深い材料であるといえる。本発表では、アメリカ南西部に分布する広義ヒノキ科ヌマスギ (*Taxodium distichum*) とスギ (*Cryptomeria japonica*) を中心に、その進化過程についていくつかのアプローチから解析した研究を紹介する。

8月27日（月） 17:00-18:00

琉球大学 亜熱帯島嶼科学拠点研究棟 3F 会議室

皆様のご来聴を歓迎いたします。 ※ ご参加・聴講は自由です
(事前申し込み不要)

お問い合わせ先：熱帯生物圏研究センター 矢口甫 hjiroo@gmail.com